THE PROPERTY OF THE PROPERTY O							Aシー	- h)	作成日	3 : 平成2	21年11月19日	
基		番号		01-02	20106002-02	事業種別	-	般		事業	態様	継続
_	事務事業名 行		行ī	「			区分	コート	*	4	名 称	
Tr.	計/方 号	为尹未石 [1]		以評価ングノム推進事業		会計	1	一般会計	+			
		区分	•	コード	名	称	款	2	総務費			
	N/.	基本目	抽	0	計画の前担		項	1	総務企画	町費		
総合	前期	本 平日	际	U	計画の前提		目	6	企画費			
計	基	施策		П	「クウ」とウルトタペのかさ		細目	3	行政経営	営改革事業		
画体	本計	ル巴	ж	п	安定した自治体経営の確立		細々目					
14 系	画	基本事業			2 公正、効果的な行政運営の確立		枝番号					
211				2				事業の	有			
						快拠:	法令等	無				
	事	業期間			単年度 ✓ 単年	F度繰返し	期	間限定	複数年度	(年度 ~	年度)
事業概要 (事業のあらまし)			_)	市の総合	合計画施策体系に基~	づき、昨年度の事務	务事業実績	を評価 [・]	する。			
				総合	計画 前期基本計画	可主要事業		担	当部課等	市長公室		政策推進課
		画等での 置付け		自自	E的財政健全化計画	基本計画・構想・	新規事業		担当係	行政改革係	記入者	杉村裕恵
	7丛 [旦,17] ()			✓ 平原	20年度重点事業				一次評価	后者 (課長等名)	根本久	雄

1 行動方針 (PLAN)

事	対象(誰を、何を)	事務事業				
業	意図→目指す成果			区分	指標名	単位
目的	(対象をどのよう な状態にしたいの	事務事業を総合計画施策体系に基づき、計画・実施・検 証・改善された状態にする。	Ŷ	成果	① 改善案が出された率 改善案提出(189)/評価事業(411)	%
	(ינ			指標	2	
_	- cn.	○評価研修会開催→(各課)評価表作成・1次評価→各係		区分	指標名	単位
手段(事業の具体的な		1事業ヒアリング 及び 全評価表内容チェック→2次評価 対象事業抽出 →2次評価会議→評価表文章校正→HPで		活動	① 評価事業数 (概要報告事業も含む)	件数
P	7容、手順等)	評価表を市民へ公開	\Box	指標	2	

2 実施 (DO)

○事業費と財源の推移

年度	平成20年度(沿	平成21年度(決算)	平成22年度(決算)		
区分	経費	金額	経費	金額	経費	金額
		(千円)		(千円)		(千円)
	需用費	40				
	委託料	1,000				
直接事業費						
	①事業費計		①事業費計		①事業費計	
人件費	②人数 (年)		②人数 (年)		& 人数 (年)	
	③平均人件費		③平均人件費		③平均人件費	
	$4=2\times3$	•	4=2×3		4=2×3	
総事業費 ①+④		4, 483				
	国庫支出金					
	県支出金					
財源内訳	使用料及び手数料					
×1/W1 1H/	地方債					
	その他					
	一般財源	4, 483				

○事務事業の実績

	指標名		単位	平成20年度 (実績)	平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
活動指標	1	評価事業数 (概要報告事業も含む)	件数	673	213	500	850
伯助相係	2						

○事務事業の成果

	指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
成果指標	ひ善案が出された率 改善案提出(189)/評価事業 (411)	%	46	50	50	60
风木钼棕	2					

3 評価 (CHECK)

		項目	区 分		選択理由の説明	項目評価			
目的妥	1	意図が政策・施策体系と結びついているか?	□ 結びつかない☑ 結びついている	\Rightarrow	事務事業を総合計画施策体系に基づき調整することで、安定した自治体経営の確立に結びつく。	✓ 適切○ やや不適切			
女当性	2	市が行うべき (関与すべ き) 事業か?	✓ 行う必要がある☐ 行う必要がない	\Diamond	各課を中心に自治体自身が事業を振返り、事務事業 の今後の方向性を判断することが重要である。	□ 不適切			
有効性	1	目的を達成するための手段 (実施方法)は有効か?	□ 有効である☑ やや有効でない□ 有効でない	\Rightarrow	全事務事業を対象としたため、事業評価単位の確認 には有効であったが、作成事務量が膨大であった。	□ 適切✓ やや不適切□ 不適切			
	2	成果指標の目標値の達成状 況は?	 順調である✓ やや順調でない 順調でない	\Rightarrow	作成事務量が多く、成果指標の目標(事業の改善案) への到達は困難を伴った。				
効率	1	投入した事業費又は人員に 見合った効果は得られてい るか?	□ 得られている□ やや得られていない☑ 得られていない	\Diamond	行革係以外の人員(各課評価表記入者等)を含めると、投入人員は非常に多い。 しかし、評価結果を各事務事業改善までには生かしきれていない。	□ 適切✓ やや不適切□ 不適切			
性	2	効率的な方法で実施されて いるか?	□ 実施されている☑ やや実施されていない□ 実施されていない	\Rightarrow	事業評価単位と予算科目単位(細々目)が一致したば かりであり、効率性向上の取組過程にある。				
公平性	1	受益者の負担が適正かつ特定の個人や団体に偏っていないか?	✓ 馴染まない │ 適正である │ やや適正でない │ 適正でない	\Diamond	特定の受益者への事業ではないため、公平性の評価は馴染まない。	□ 適切□ やや不適切□ 不適切			
	【2次評価】								
全体評価意味を表現しています。									
	✓ 適切 □ やや不適切 □ 不適切								

4	評価による行動(AC	TION)		
		【1次評価】		【2次評価】
	今後の方向性	方向性に対する取り組み (課題と解決方法等)	今後の方向性	方向性に対する取り組み (方針の指示)
20年度		 ○事務事業の負担感が大きい。 → 評価表の簡素化を図る。 各課・係単位の評価システムを構築する。 ○事務事業の評価結果を活用できない。 → 予算編成連動システム 及び各課・係単位の評価システムを構築する。 	拡大・重点化✓ 手段等の見直し現状継続廃止・休止完了・終了	予算編成システムとの連動について重点的 に進めていく。
/ 19年度			放大・重点化 手段等の見直 現状継続 廃止・休止 完了・終了	
18年度			拡大・重点化 手段等の見直 現状継続 廃止・休止 完了・終了	